

令和2年度 港湾空港技術講演会

日時

令和3年1月20日（水）
13:00～16:45

開催
方法

Microsoft Teams
によるリモート開催
（参加無料）

■ 講演会概要 ■

本講演は、国土交通省国土技術政策総合研究所及び国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所で実施している調査、研究、技術開発の成果を公表し、その普及に努めることを目的に開催しております。

当日は『BIM/CIMの技術的・歴史的意義、現状および展望』と題し、大阪大学大学院工学研究科環境エネルギー工学専攻 矢吹信喜 教授の特別講演と、両研究所から最近の研究成果を発表します。ご多忙中とは存じますが、ご参加賜りますようお願い申し上げます。

申込
方法

参加を希望される方は必要事項を記載のうえ下記メールアドレスにご連絡をお願いします。

■ 申込先 ■ kouhou.pari@p.mpat.go.jp

■ 必要事項 ■

- ①氏名、②所属、③連絡先
- ④CPD受講証明(※)が必要な場合はその旨の記載

■ 申込締切 ■ 1月15日（金）



土木学会CPDプログラム
現在申請中です

※CPD受講証明方法

本講演はリモート開催のため受講後に100字以上の学びや気付き(所見)をメールにてご提出いただき、内容を確認させていただいた上で、受講証明書をお送りいたします。

ご提出時に受講証明書の送付先をご記載ください。

■ お問い合わせ先 ■

国立研究開発法人
海上・港湾・航空技術研究所
港湾空港技術研究所
企画調整・防災課 大西
Tel : 046-844-5040



プログラム

13:00

開会挨拶

◎稲田 雅裕 港湾空港技術研究所長

13:10

特別講演 BIM/CIMの技術的・歴史的意義、現状および展望

◎矢吹 信喜 大阪大学大学院工学研究科環境エネルギー工学専攻 教授

14:10

津波・高潮災害の予測に向けた最近の取り組み

◎高川 智博 港湾空港技術研究所 海洋水理研究領域 津波高潮研究グループ長

14:45

休憩(15分)

15:00

深海でのインフラ構築に向けた基礎的研究

◎川端 雄一郎 港湾空港技術研究所 構造研究領域 構造新技術研究グループ長

15:35

港湾施工のICT、BIM/CIMに向けた取り組み

◎松本 さゆり 港湾空港技術研究所 インフラDX研究領域 ビッグデータ研究グループ長

16:10

港湾におけるICT、BIM/CIMの導入

◎櫻井 義夫 国土技術政策総合研究所 港湾施工システム・保全研究室長

16:35

閉会挨拶

◎水上 純一 国土技術政策総合研究所 副所長

講演者紹介/講演内容の概要

特別
講演

大阪大学大学院工学研究科
環境エネルギー工学専攻 教授

やぶき のぶよし

矢吹 信喜

『BIM/CIMの技術的・歴史的意義、現状および展望』



矢吹信喜 教授のプロフィール

1959年東京都生まれ。1982年東京大学工学部土木工学科卒業。電源開発株式会社入社。1988年米国スタンフォード大学土木工学専攻修士課程入学。1989年米国スタンフォード大学土木工学専攻修士課程修了(M. S.)。1992年米国スタンフォード大学土木工学専攻博士課程修了(Ph. D.)。1999年電源開発株式会社退社。室蘭工業大学工学部建設システム工学科助教授。2007年室蘭工業大学工学部建設システム工学科准教授。2008年から現職。

高川智博『津波・高潮災害の予測に向けた最近の取り組み』

データ駆動型基底を用いた新しい津波波源の解析方法、漂流物シミュレーションの高度化、最大クラス台風による高潮の設定に関する最近の取り組みを紹介する。

川端雄一郎『深海でのインフラ構築に向けた基礎的研究』

「地球に残された最後のフロンティア」と称される深海の利活用が注目される中、深海でのインフラの重要性が増えています。本講演では、深海でのインフラ構築に向けた基礎研究の最前線を紹介する。

松本さゆり『港湾施工のICT、BIM/CIMに向けた取り組み』

港湾施工でのICT化においては、BIM/CIMの活用がキーになる。そのため、施工中の現状確認や検査に、より効果的な計測方法の検討やそれを実現するツールの開発に関心が集まっている。本講演では、最近の取り組みについて紹介する。

櫻井義夫『港湾におけるICT、BIM/CIMの導入』

平成28年より推進されているi-Construction導入背景に触れたのち、港湾におけるICT活用として主にICT浚渫工の状況、港湾におけるBIM/CIMに関する取り組みを紹介する。